

島崎・浜町ウォーターフロントエリアの活性化に向けて

■ 日本三景天橋立を臨む眺望に優れアクセスもよい「島崎・浜町ウォーターフロントエリア」の民間資金等を活用した活性化に向け、令和2年度から5年度にかけて「民間意向に基づく事業化の可能性調査」を行って、「道の駅の拡張に優先して着手し、エリア全体の賑わいを創出する起爆剤とすべし」などエリア活性化(民間資金等を活用した事業化にあたって)の方向性(民間意向)を市として把握してきたところです。

そうした中、今後、市が、市民意向も把握した上で「エリア活性化(民間資金等を活用した事業化などに係る)方針」を固め、エリアにおける事業化の判断などを行うにあたり、島崎・浜町ウォーターフロントエリア活性化検討委員会を設置し、エリア活性化に向けた検討を進めているところです。

島崎・浜町ウォーターフロントエリアにおける民間意向に基づく事業化の可能性調査と活性化検討

R2～R3年度：サウンディング調査を4回実施、延べ16社と対話

R4年度：島崎ウォーターフロントエリア民間開発事業可能性調査 ※63社ヒアリング

R5年度：島崎・浜町ウォーターフロントエリア民間資金等活用事業可能性調査：123社ヒアリング

⇒ R6/7：第1回 島崎・浜町ウォーターフロントエリア活性化検討委員会

【第1回検討委員会のまとめ】

エリアのゾーン分けについて、エリア全体を一度に開発するのではなく、まずはエリアを各ゾーンに区分し、3つのグループに分ける。そして、道の駅と公園のエリア(交流拡大ゾーン)について、増加傾向の道の駅ユーザーに応えるべく、「民間を活用した機能拡充」をまず優先的に検討していくという方向性で進めていく。



第1回・第2回検討委員会、道の駅利用者、関連事業者から得られた道の駅への主な意見

立地条件が良い 海が魅力

立地場所のポテンシャル

営業ポテンシャルがある 宿泊ニーズがある

規模が小さい 人が集まらない

現在の道の駅の課題

入店しても 観光客が車を素通りしている人がいる 止めにくい状況もある

観光客が楽しめる施設 地魚を買う・食べる場所になると良い

夜の営業必須(帰り道に食べれる) 平面駐車場部分も有効活用できるのでは

道の駅の将来像・アイデア

インバウンドへの対応 食べ歩きニーズへの対応

ペット連れ利用者 ニーズへの対応 市街地への回遊(ITやソフト面の工夫も)

「道の駅と公園のエリア」を「交流拡大ゾーン」にしていく想定のもと、現在、「道の駅の機能拡充に向けた専門的な調査」などを行っているところです。

出口アンケート調査
関連事業者へのヒアリング調査

R7.1.28 第2回検討委員会

施設テーマ等検討

サウンディング調査

基盤整備等検討結果

R7.3.24 第3回検討委員会